



ミラーレス一眼等の画期的な製品を通じ、心の豊かさの実現に貢献します

着実に事業構造の転換を進めています。安定的な利益の創出に向けて、顧客ニーズを特定し、高付加価値製品の開発・製造・販売を強化することにより、「オリンパスらしい」製品・サービスを提供し、世界の人々の心の豊かさの実現に貢献していきます。

執行役員
イメージングディビジョンヘッド
(映像事業担当役員)

杉本 繁実

<ul style="list-style-type: none"> ●ミラーレスへの集中により蓄積された独自技術 ●高性能レンズの小型・軽量化設計、製造力 ●ミラーレス市場(日本)において高いシェアを維持 	<p>強み</p> <p>S</p>	<p>弱み</p> <p>W</p> <ul style="list-style-type: none"> ●巨大市場である米国、中国での低シェア
<ul style="list-style-type: none"> ●市場全体のミラーレスシフトの加速により、従来の一眼レフユーザーからの買い替え、買い増しが期待される 	<p>機会</p> <p>O</p>	<p>脅威</p> <p>T</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ミラーレス市場における競争激化 ●スマートフォンやタブレット端末等のさらなる進化

国内市場シェア(ミラーレス一眼カメラ)

キヤノン、ニコン、ソニー、パナソニック 他

オリンパス
約20%

デジタルカメラ分野



デジタル一眼カメラ(ミラーレス一眼カメラ)/コンパクトデジタルカメラ/デジタルカメラ関連製品

その他分野



ICレコーダー/双眼鏡

映像事業技術の他事業展開

映像事業は全社技術ドライバーとしての役割を担っており、事業活動で獲得した技術や事業運営プロセスを他事業へ展開することで、世界の人々の健康と安心に貢献します。

展開技術・事業運営プロセス	事業	貢献内容
1 先端デジタル技術	内視鏡事業	次世代内視鏡の先端部分にデジタルカメラのAF用アクチュエータを活用
	科学事業	「再生医療向けのソリューション開発」として、Wi-Fi / ICT活用の試作機を開発
2 低コスト生産設計力	内視鏡事業	内視鏡プロセッサの基板に対し、映像技術の低コスト・高密度実装設計を活用
	治療機器事業	短納期・低コストの開発プロセス、量産・小型化技術等を活用し、次世代エネルギーデバイス製品を開発
3 モバイル技術		

市場環境と見通し

デジタルカメラ市場の急速な縮小に対応するため、事業規模の適正化に向けた構造改革を進めました。売上が縮小しても継続的に利益を生み出せる事業構造とすべく、コスト構造の見直しや、収益性の高い交換レンズを強化する等、収益構造の改善を図っています。

各社のミラーレス一眼カメラ市場への参入により競争環境は激しさを増していますが、当社はマイクロフォーサーズシステム規格に準拠したミラーレス一眼カメラの開発に注力しています。今後も選択と集中、リスクコントロールを継続しながら、ミラーレス一眼システムの販売を強化していきます。

重点施策

1	事業構造改革の継続的推進	<ul style="list-style-type: none"> ●高付加価値ミラーレス(主にOM-Dシリーズ)・交換レンズ(PROシリーズ)の開発に注力 ●より効率的な製品立ち上げと量産ができる体制を構築 ●全社共同購買の体制構築
2	市場変化への対応力向上	<ul style="list-style-type: none"> ●市場規模・当社シェア等をモニターし、状況変化に応じて各拠点・機能の効率化、マーケットの選択と集中を事業全体で実施
3	在庫リスクの極小化	<ul style="list-style-type: none"> ●製品供給リードタイム、特定地域への偏在リスクを低減することにより在庫回転日数を短縮
4	全社技術ドライバーとしての貢献	<ul style="list-style-type: none"> ●4K/8Kの動画技術や撮影のためのデバイス開発、出力(モニター)インターフェースの最適化等、トータル技術を確立 ●OM-DやPROレンズの開発製造により生み出される先端デジタル・低コスト生産技術やモバイル技術を他事業に展開

2019年3月期における成果と今後の施策(課題)

成果	今後の施策(課題)
<ul style="list-style-type: none"> ●安定的な利益の創出に向けた構造改革の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・中国生産子会社の操業停止 ・ベトナム工場への生産移管を推進 ●収益基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・品質保証体制を強化し、商品品質レベルを向上 ●ミラーレスカメラの開発に集中し、「OM-D E-M1X」、交換レンズ「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-200mm F3.5-6.3」を計画通り導入 	<ul style="list-style-type: none"> ●黒字化構造の定着に向けた構造改革の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム工場移管後の立ち上げを確実に実行し、製造原価率を改善(生産能力強化と効率化) ・選択と集中により効率化した販売機能の強化(状況変化に応じた対応を実施) ・安定的な新製品導入による収益性の改善

TOPIC

「カメラグランプリ2019」において「あなたが選ぶベストカメラ賞」を受賞

マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したミラーレス一眼カメラ「OLYMPUS OM-D E-M1X」が国内で権威のある「カメラグランプリ2019」の「あなたが選ぶベストカメラ賞」を受賞しました。



カメラグランプリ2019授賞式

2020年3月期の見通し

(3月期)	2019年	2020年(見通し)
売上高(億円)	487	500
営業利益(億円)	△183	△70

